

## 今月の管内農業情報(田原農業改良普及課)

[2020年2月4日]

### 12月の農業情報

**タイトル** ほ場共進会で若手農家が夏ぎく、電照ぎくとも最優秀賞

**とき** 令和元年12月12日(木)

**ところ** キク生産者ほ場(田原市)

**主体・対象** JA愛知みなみ輪菊部会(734名)

#### 内容

第41回田原市・JA愛知みなみ電照ぎくほ場共進会が開催され、田原市江比間町の石川悟氏が、9月に開催された夏ぎくほ場共進会に続き最優秀賞に選ばれた。農業改良普及課では、優良生産者の栽培管理方法を明らかにし産地に紹介することで、管内全域の生産技術改善と品質向上に役立てる。

石川氏は親元就農し、今年で4年目の若手生産者である。石川氏のほ場は、生育・開花とも揃いが良く、花の形質や茎葉のバランスに優れ、ロスの無い高い収量と秀品率が見込まれた。

例年12月中旬開花の作型は、日照量の低下によるボリューム不足が課題となっている。本年度は、梅雨明け後に平年よりも高い気温が続いたため、茎が徒長して細くなり、ボリュームがつきにくい環境であった。

石川氏は、ほ場の排水性を重視して毎作サブソイラーで深耕し、3～4年に一度定期的に有機物を投入するなど、土壌改良に力を入れていた。また、土壌の乾き具合をpFメーターで確認して頭上散水によるムラのないかん水を行い、生育や天候に合わせた優れた栽培管理を行っていた。

今後、農業改良普及課は、上位入賞者の管理方法を部会員へ周知し、管内の生産技術改善に役立てていく。



石川氏のほ場審査の様子